

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2021年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務			協力会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)															
工期	令和4年3月15日 ~ 令和4年3月31日			作成者	中島 強太															
作業名称	橋梁壁高欄はく落ネット設置工		作業手順書	作成年月日	令和4年3月14日															
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)				協力会社店社確認	自筆サイン															
	トラック(2t)			元請確認	自筆サイン															
使用工具 機器 (大きさは等しい具 体的な寸法を記す)	電動ハンマードリル、サンダー、発電機			改正年月日																
	ワイヤー緊張機器、セットハンマー、インパクトドライバー			作業順序 <table border="1" style="width:100%;"><tr><td>1</td><td>準備作業</td></tr><tr><td>2</td><td>アンカー削孔・打設</td></tr><tr><td>3</td><td>ワイヤーロープ設置</td></tr><tr><td>4</td><td>標識取付金具撤去</td></tr><tr><td>5</td><td>ネット設置</td></tr><tr><td>6</td><td>ネット固定</td></tr><tr><td>7</td><td>標識取付金具再設置</td></tr><tr><td>8</td><td>片付作業</td></tr></table>		1	準備作業	2	アンカー削孔・打設	3	ワイヤーロープ設置	4	標識取付金具撤去	5	ネット設置	6	ネット固定	7	標識取付金具再設置	8
1	準備作業																			
2	アンカー削孔・打設																			
3	ワイヤーロープ設置																			
4	標識取付金具撤去																			
5	ネット設置																			
6	ネット固定																			
7	標識取付金具再設置																			
8	片付作業																			
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、安全チョッキ、手袋(刃物作業時は耐切創用)、安全帯																			
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	・ 振動工具取扱																			
	・ 中型自動車免許																			
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	職長 1人、作業員3名																			
	合計 4名																			
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)		周知会実施日	令和4年2月28日																
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)																			

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能 性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△△	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
リスクレベル	5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知					

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
現地確認(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認						
	周辺安全確認	構造物の確認						
準備作業(全員)	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認						
	車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認						機械器具の作動、ワイヤーの点検色を確認する
アンカー削孔・打設(作業員)	ルーティーンアンカーを設置する為、下穴削孔及び打設	削孔位置・深さの確認 構造物内の鉄筋のかぶり	削孔時、誤って深く削孔して高欄内の鉄筋に接触	△	○	△○	2	品 図面との照合・削孔深さに留意しドリル刃にてテブ等による削孔深さの明示
			粉塵が舞い、目や口に吸いこむ危険	×	△	×△	3	労 削孔時、保護メガネ・保護マスクを確実に装着する
			打設時、誤って手を叩く危険	△	△	△△	3	労 打込棒を使用し、焦らず確実に打設する
ワイヤーロープ設置(作業員)	アンカー設置箇所、ワイヤーロープを設置。 折り返し場所にはクリップにて固定	ワイヤー切断長さ クリップ固定時の緊張	サンダーにてワイヤー切断時、誤って自身の手を切創する	△	×	△×	3	労 始動前の各部の操作方法の再確認
			クリップにて固定作業時、ワイヤー素線が切れて手等にささる	○	△	○△	2	労 作業時は保護手袋の着用 素線が切れている場合は、除去後実施
標識取付金具撤去(作業員)	既設警戒標識取付金具を一時撤去する	既設標識及び視線誘導標の一時撤去	撤去時、小さなナットが高架下へ落下し歩行者及び車両に接触する	×	×	××	5	公 小さな部材は、ネット網等を使用し落下する際に受け止める
			ナットが固く、無理に回そうとして手首を痛める	△	△	△△	3	労 潤滑剤等を準備し、人力による力の負荷を減らす
はく落防止ネット設置(作業員)	ワイヤー緊張棒を使用し、ネットの設置を行う	ネット設置時、複数の作業員にて広げて行う	設置時、通行車両の風圧によりネットが飛散する	△	×	△×	3	公 必ず複数人にて作業を実施し、車両通過時は一時作業を止める
			ネット自体を引っ張りすぎて、損傷させる	○	△	○△	2	品 作業前に、資機材の規格及び特性を全員で十分に確認して行う
はく落防止ネット固定(作業員)	ネット敷設後、ジョイントコイルを用いてワイヤーロープと固定する	所定通りの間隔にてジョイントコイルを設置する	ジョイントコイル設置時、先端部にて怪我をする	○	△	○△	2	労 作業時は手袋の着用
			設置時、誤って高架下へ落下し歩行者及び車両に接触する	×	×	××	5	公 設置時、ネット網等を使用し落下する際に受け止める
標識取付金具再設置(作業員)	既設警戒標識取付金具を再設置する	固定金具箇所ネットを多い被す為実施	再設置時、小さなナットが高架下へ落下し歩行者及び車両に接触する	×	×	××	5	公 小さな部材は、ネット網等を使用し落下する際に受け止める
後片付け(全員)	清掃・資機材の搬出							